

平成 25 年 6 月 30 日発行

三重大学 日本語学文学第 24 号 抜刷

## コリヤード『羅西日辞書』諸本の異同（2）

—国内諸本など—

川 口 敦 子

# コリヤード『羅西日辞書』諸本の異同（2）

—国内諸本など—

川 口 敦 子

## 1. はじめに

コリヤードによる『羅西日辞書』（1632年ローマ刊、原題：Dictionarium siue thesauri linguae Iaponicae compendium）は、ヨーロッパ語と日本語の対訳辞書としてイエズス会版『羅葡日対訳辞書』（1595年天草刊）や『日葡辞書』（1603-04年長崎刊）等に次いで古いものであり、当時の日本語を知る上で貴重な資料である。日本やヨーロッパの図書館に数多く所蔵が確認されているが、同年出版の諸本の間にいくらかの異同が存在する。『羅西日辞書』を日本語の研究資料としてより利用しやすい状態にするには日本語訳付きの翻刻の刊行が望まれるが、そのためにも、まずは諸本の異同の確認と最善本の選定が必要となる。

『羅西日辞書』の成立事情はやや複雑であり、拙稿「コリヤード『羅西日辞書』諸本の異同 —ローマ、ヴァチカンにおける調査を中心に—」（三重大学人文学部文化学科研究紀要『人文論叢』第29号、2012年3月）において、本文および頁付けの異同から、正篇は少なくとも3系統、続篇は少なくとも6系統に分かれることを指摘した。本稿はその後の調査で得られた『羅西日辞書』諸本の異同を報告し、『羅西日辞書』の印刷過程と本文改訂について新たな知見を加えるものである。

## 2. 調査対象

拙稿「コリヤード『羅西日辞書』諸本の異同 —ローマ、ヴァチカンにおける調査を中心に—」（以下「前回の報告」とする）では、ライデン大学本、アレッサンドリナ Of 本、アレッサンドリナ Oo 本（正篇のみ）、ウルバノ大学本、ヴァリチェリアナ本、ヴァチカン Barbelini 本、ヴァチカン Chigi 本、ヴァチカン Mai 本（正篇のみ）、ヴァチカン Racc. Gen. Oriente 本、東大本、マドリー本、亀井本、そして参考として大塚光信氏作成の表<sup>1)</sup>に基づいて京大本を挙げた。

本稿ではその補遺および追加調査として以下の①～⑩を挙げる。なお、所蔵番号等の情報は、①は2006年9月、②は2007年9月、③④は2012年9月、⑤は2013年2月、⑥⑦は2013年3月に行った現地調査に基づく。なお、諸本の来歴の手がかりのために、所蔵者に関係すると思われる書き入れや印記、登録番号についても記す。

①アンジェリカ本

アンジェリカ図書館 (Biblioteca Angelica) Rari 12-3-IX

コリヤード『日本文典』(1)、『羅西日辞書』正篇(2)、『羅西日辞書』続篇(3)、David Haex, *Dictionarivum Malaico-Latinvm et Latino-Malaicvm*, Roma, 1631(4)の合冊。

表見返しに「12 3 /IX」のインク書き入れあり。正篇扉と続篇扉に「50871」の書き入れあり。印記「Bibliotheca Angelica」(『日本文典』扉)。

②アジュダ本

アジュダ図書館 (Biblioteca da Ajuda) Mon. 73-VII-42

正篇・続篇。

王冠と文字を組み合わせた意匠の蔵書印あり。

③ポルト市公共図書館本

ポルト市公共図書館 (Biblioteca Pública Municipal do Porto) J-1-69

『羅西日辞書』正篇・続篇(1)、コリヤード『日本文典』(2)、コリヤード『懺悔録』(3)の合冊。

表見返しに「Ex-libris No. geral Collocação I 1 69」との蔵書票貼付。前遊び紙 I 裏に「A 2 18」との鉛筆書きを抹消して「J-1-69」の鉛筆書き入れあり。前遊び紙 II 裏に「J-1-69-」の鉛筆書き入れあり。印記「REAL BIBLIOTHECA PUBLICA DO PORTO」。

④東洋文庫本

東洋文庫 貴重書 O-17-D-16

正篇・続篇。

前遊び紙 I 裏に「73CR」(「71CR」を訂正)、「728」の鉛筆書き入れあり。扉に「Ex Dono Emin.mi, & Reu.mi Dñi S. R. E. Presbri Cardinalis de Iansonis Fourbin 1694.」のインク書き入れあり。後遊び紙 II 表に「1402 Collado Dictionarium.」との紙片貼付。裏見返しに「1130」との紙片貼付。印記「東洋文庫」。「MARUZEN C.o L.TD BOOK DEPARTMENT TOKYO」のシール(表見返し左上)。

⑤大阪府立図書館本

大阪府立中央図書館 市河文庫-甲4-貴 (旧「中之島図書館本」。大阪府立中央図書館の開館に伴い、平成8年5月10日に大阪府立中之島図書館から移管)

正篇・続篇。

表見返し中央に「SANKI ICHIKAWA」(Ralph Hodgson によるフェニックスの図柄<sup>(2)</sup>)との蔵書票貼付。前遊び紙 I 裏に欧文の鉛筆書き入れあり。前遊び紙 II 裏に「Ta. II. 12.」のインク書き入れあり。印記「大阪府立図書館蔵書印」「大阪府立図

書館蔵書」。登録印「大阪府立図書館 昭和廿六年十二月二日 248164」。

⑥京大上野文庫本

京都大学経済学研究科・経済学部図書室 上野文庫 CIV-2-COL

正篇・続篇。

表見返しに「M. 3」のインク書き入れ、「195.」の鉛筆書き入れあり。扉に「No. 195」の鉛筆書き入れあり。裏見返しに「R. C/33. 32.」の鉛筆書き入れあり。印記「BIBLIOTHECÆ S. PETRI AD VINCULA」「上野氏図書記」「上野蔵書」。登録印「京都大学経済学部 9205079 図書」「1993/ 1 / 8」「上野淳一寄贈」。欧文が書かれた紙片（4枚）が添えられている。

⑦京大本

京都大学附属図書館 3-7 / C 3 / 貴

『羅西日辞書』正篇・続篇（1）、コリヤード『日本文典』（2）、コリヤード『懺悔録』（3）の合冊。

前遊び紙表に「216」「f. 1. 1. 0.」の鉛筆書き入れあり。扉に「徳 大正二、三、一三、」の墨書と欧文のインク書き入れあり。後遊び紙裏と裏見返しに「X. f. 17」のインク書き入れあり。印記「京都帝国大学図書之印」、ほか1印（朱楕円）。登録印「貴 127044 大正 2.3.25」。

⑧筑波大本<sup>(3)</sup>

筑波大学附属図書館 ベッソン・コレクション 198.221-B39-3

正篇・続篇。

扉に「Philippi Monti」の書き入れ、聖職者の帽子が描かれた紋章の円形印、ほか1印（楕円）。

⑨バイエルン州立図書館本<sup>(4)</sup>

バイエルン州立図書館 (Bayerische Staatsbibliothek) 4 L.as. 240

正篇のみ。

扉に「Ad Bibliothecam Lauretanam [] Burgstall linguæ Ad Station~」の書き入れあり。印記「Bayerische Staatsbibliothek MÜNCHEN」。

⑩オーストリア国立図書館本<sup>(5)</sup>

オーストリア国立図書館 (Österreichische Nationalbibliothek) 73.G. 8 Alt Prunk

正篇・続篇。

表見返しに「MENTEM ALIT ET EXCOLIT K. K. HOFBIBLIOTHEK ÖSTERR. NATIONALBIBLIOTHEK 73. G. 8」との蔵書票貼付。前遊び紙I表に「73. G. 8.」の書き入れあり。印記「KAISERLICHE KORNIGLICHE HOFBIBLIOTHEK」。

### 3. 諸本の異同

前回の報告で挙げた諸本に上記の①～⑩の諸本を加え、新たに1項目を追加した全28項目について、正篇（4項目）と続篇（24項目）に分けてそれぞれ【表1】と【表2】に示す<sup>6)</sup>。正誤表などから誤りと判断される箇所には網掛けを施した。

正篇については、前回の報告では頁付けに異同が無かったため本文の異同から正篇 a～正篇 c の3系統に分けたが、今回の調査でオーストリア国立図書館本に p. 151 の頁付けを「161」とする誤植が見られたため、頁付けの異同から正篇 c をさらに分けて、正篇 a・正篇 b・正篇 c-1・正篇 c-2 の4系統とする。なお、今回新たに報告する諸本には下線を付す（以下同じ）。

正篇 a：マドリー本、亀井本

正篇 b：ライデン大学本

正篇 c-1：オーストリア国立図書館本

-2：アレッサンドリナ Of 本、アレッサンドリナ Oo 本、ヴァチカン Barberini 本、ヴァチカン Chigi 本、ヴァチカン Mai 本、ヴァチカン Racc. Gen. Oriente 本、ヴァリチェリアナ本、ウルバノ大学本、東大本、アンジェリカ本、アジュダ本、ポルト市公共図書館本、東洋文庫本、大阪府立図書館本、京大上野文庫本、京大本、筑波大本、バイエルン州立図書館本

本文の異同だけを見れば、正篇 a→正篇 b→正篇 c の順で改版が行われたと推測される。誤植→改訂の先後関係を念頭に置いて、誤植があるオーストリア国立図書館本を正篇 c-1 としたが、正篇 c-1 と正篇 c-2 の先後関係はこの順番とは限らない。p. 151 の頁付けについて、正篇 c-1 に先行すると思われる本文を持つ正篇 a と正篇 b では正しく「151」とあるのに、正篇 c-1 では「161」と誤っており、改版に伴う訂正の流れに逆行しているように見えるからである。これは、続篇の p. 216 の頁付けを「202」と誤るが p. 324 と p. 328 の頁付けは正しい系統と、p. 216 の頁付けは正しいが p. 324 と p. 328 の頁付けを「334」「388」と誤る系統があつて、これらの先後関係がよくわからないのと同様であると言える。続篇ほどではないものの、正篇にも続篇同様の細かな訂正の跡が認められ、その成立過程が複雑であることを窺わせる。

続篇については、前回の報告では、まず本文の異同から大きく続篇 a・続篇 b・続篇 c の3系統に分けたが、アンジェリカ本の異同により1系統追加して続篇 a・続篇 b・続篇 c（前回の報告では「続篇 b」）・続篇 d（前回の報告では「続篇 c」）の4系統に分け直す。続篇 c は前回の報告と同じく頁付けの異同からさらに4つに分けられるので、合計7系統となる。

なお、大塚氏は「京大上野文庫本は中之島図書館本に全同」<sup>(7)</sup>としたが、それは本文だけの異同によるものであり、頁付けの異同も加えると、京大上野文庫本は大阪府立図書館本（＝中之島図書館本）とは別系統に分類される。

続篇 a：マドリー本、ライデン大学本、ヴァリチェリアナ本

続篇 b：アンジェリカ本

続篇 c-1：ヴァチカン Chigi 本

- 2：ヴァチカン Racc. Gen. Oriente 本、東大本

- 3：ヴァチカン Barberini 本、ウルパノ大学本、亀井本、アジュダ本、ポルト市公共図書館本、東洋文庫本、大阪府立図書館本、筑波大本、オーストリア国立図書館本

- 4：アレッサンドリナ Of 本、京大上野文庫本

続篇 d：京大本

以上から、諸本の中でも京大本の続篇が特異なものであることが改めて確認できる。正誤表から判断すると、京大本は p. 217 から p. 224 にかけての部分では続篇 a～続篇 c-4 に見られる誤植を訂正した本文を持ちつつも、p. 265 から p. 271 にかけての部分はむしろ続篇 a よりさらに前の未訂正の状態を示しているという、複雑な構成になっている。この理由について、前回の報告では、『羅西日辞書』がクォート判（四つ折り判）であり、一枚の紙（折丁）の範囲内と考えられる箇所へ改訂が集中していることから、印刷の段階では折丁単位で改訂を行ったが製本の段階で改訂前の古い紙が混入した、という可能性を指摘した。

今回調査を行った京大本は背表紙が剥離しており閲覧には注意が必要な状態であったが、それゆえに折丁の綴じ目の部分が露出した状態で、普通に閲覧している状態でも一つの折丁に含まれる頁の範囲を確認することができる箇所があった。【表 1】と【表 2】に挙げた異同箇所のある頁と折丁の範囲の関係を京大本によって確認したところ、対象となる頁を含む折丁の範囲はそれぞれ以下のようであった。

正篇：p. 37-42 p. 43-50 p.145-152

続篇：p. 177-184 p. 209-216 p. 217-224 p. 265-272 p. 289-296  
p. 321-328

このうち、異同箇所がある頁が一つの折丁の範囲内に複数見られる「p.145-152」「p. 217-224」「p. 265-272」「p. 289-296」「p. 321-328」について、実際に四つ折り判の状態を再現してみると、折丁を開いた状態の紙の両面に印刷されている頁は以下のようになる。なお、「折丁の範囲：表面に印刷される頁 / 裏面に印刷される頁」のように示し、本文の異同箇所がある頁には二重下線を付し、頁付けの異同がある頁には波線を付す。

【表1】正篇の異同

	正篇 a	正篇 b	正篇 c-1
	マドリー本、亀井本	ライデン大学本	オーストリア国立図書館本
042 左 03	zoràcu	zoyàcu	zoyàcu
047 右 29	qen-zòcu nu	qen-zòcu no	qen-zòcu no
149 左 36	fòqi, u.	fòqi, u.	fìqi, u.
151	151	151	161

【表2】続篇の異同

	続編 a	続編 b	続篇 c-1	続篇 c-2
	マドリー本、ライデ ン大学本、ヴァリ チェリアナ本	アンジェリカ本	ヴァチカン Chigi 本	ヴァチカン Racc. Gen. Oriente 本、東 大本
179 左 32	fayi, u.	fayi, u.	faqì, u.	faqì, u.
216	216	216	202	216
217 左 36	icâgari, u.	icâgari, u.	icâgari, u.	icâgari, u.
224 右 10	voixîda-xi, u.	voixîda-xi, u.	voixîda-xi, u.	voixîda-xi, u.
224 右 11	nagucdaxi, u.	nagucdaxi, u.	nagucdaxi, u.	nagucdaxi, u.
265 左 15	cumi, u.	cumi, u.	cumi, u.	cumi, u.
265 左 22	<i>tresquilar</i>	<i>tresquilar</i>	<i>tresquilar</i>	<i>tresquilar</i>
265 左 34	furui, ũ.	furui, ũ.	furui, ũ.	furui, ũ.
269 左 23	fo-robòxi, u.	fo-robòxi, u.	fo-robòxi, u.	fo-robòxi, u.
271	269	269	269	269
290 左 23	mucay	mucaye	mucaye	mucaye
290 右 20	nàio	nàii	nàii	nàii
290 右 25	ma-cuioi.	ma-curoi.	ma-curoi.	ma-curoi.
291 左 18	ma-ràxi, u.	ma-vàxi, u.	ma-vàxi, u.	ma-vàxi, u.
291 左 34	nozomu	nozomi	nozomi	nozomi
291 右 26	famatàque	famatàgue	famatàgue	famatàgue
294 左 37	<i>Coope-rimentuu</i>	<i>Coope-rimentum</i>	<i>Coope-rimentum</i>	<i>Coope-rimentum</i>
294 右 12	<i>Opipaxus</i>	<i>Opiparus</i>	<i>Opiparus</i>	<i>Opiparus</i>
294 右 32	xiqini	xichini	xichini	xichini
295 左 05	coròyi, u.	coròxi, u.	coròxi, u.	coròxi, u.
295 左 21	daij	daiji.	daiji.	daiji.
295 左 39	noyõni	vanoyõni	vanoyõni	vanoyõni
324	324	334	324	334
328	328	388	328	388

正篇 c-2	正誤表
アレッサンドリナ Of 本、アレッサンドリナ Oo 本、ヴァチカン Barberini 本、ヴァチカン Chigi 本、ヴァチカン Mai 本、ヴァチカン Racc.Gen.Oriente 本、ヴァリチェリアナ本、ウルバノ大学本、東大本、アンジェリカ本、アジュダ本、ボルト市公共図書館本、東洋文庫本、大阪府立図書館本、京大上野文庫本、京大本、筑波大本、バイエルン州立図書館本	
zoyàcu	—
qen-zòcu no	—
fiqi, u.	—
151	—

続篇 c-3	続篇 c-4	続篇 d	正誤表
ヴァチカン Barberini 本、ウルバノ大学本、亀井本、アジュダ本、ボルト市公共図書館本、東洋文庫本、大阪府立図書館本、筑波大本、オーストリア国立図書館本	アレッサンドリナ Of 本、京大上野文庫本	京大本	
faqì, u.	faqì, u.	faqì, u.	—
216	216	216	—
icàgari, u.	icàgari, u.	ifagari, u.	icàgari, <i>l. iiàgari.</i>
voixìda-xi, u.	voixìda-xi, u.	voxìda-xi, u	—
nagucdaxi, u.	nagucdaxi, u.	nacàgucdaxi, u	nagucdaxi, <i>l. naguèdaxi.</i>
cumi, u.	cumi, u.	cùmi cumi, u	cùmi; u.
<i>tresquilar</i>	<i>tresquilar</i>	<i>tresequilar</i>	<i>tresequilar, l. tresquilar.</i>
furui, ù.	furui, ù.	futui, ù	futui, <i>l. furui.</i>
fo-robòxi, u.	fo-robòxi, u.	fo-roqòxi, u	roqòxi, <i>l. roboksi.</i>
269	271	269	—
mucaye	mucaye	mucaye	mucay, <i>l. mucaye.</i>
nàii	nàii	nàii	nàio, <i>l. nàri.</i>
ma-curoi.	ma-curoi.	ma-curoi	cuioi, curoi.
ma-vàxi, u.	ma-vàxi, u.	ma-vàxi, u.	ràxi, <i>l. vaxi.</i>
nozomi	nozomi	nozomi	nozomu, <i>l. nozomi.</i>
famatàgue	famatàgue	famatàgue	famatàque, <i>l. famatague.</i>
<i>Coope-rimentum</i>	<i>Coope-rimentum</i>	<i>Coope-rimentum</i>	—
<i>Opiparus</i>	<i>Opiparus</i>	<i>Opiparus</i>	<i>l. Opiparus.</i>
xichini	xichini	xichini	—
coròxi, u.	coròxi, u.	coròxi, u	coròyi, <i>l. coròxi.</i>
daiji.	daiji.	daiji.	<i>l. daiji</i>
vanoyòni	vanoyòni	vanoyòni	—
324	324	324	—
328	328	328	—



p. 145-152 : 145, 148, 149, 152 / 146, 147, 150, 151  
p. 217-224 : 217, 220, 221, 224 / 218, 219, 222, 223  
p. 265-272 : 265, 268, 269, 272 / 266, 267, 270, 271  
p. 289-296 : 289, 292, 293, 296 / 290, 291, 294, 295  
p. 321-328 : 321, 324, 325, 328 / 322, 323, 326, 327

このように、異同箇所は同じ折丁の範囲内に集中しているだけでなく、1枚の紙(折丁)のどちらか片面に偏っていることが多い。これは『羅西日辞書』の改訂が折丁単位(あるいはその片面単位)で行われていたことを示しており、前回の報告での仮説を強く裏付ける根拠となる。

また、例が少ないので偶然の可能性も排除はできないが、辞書本文の異同と頁付けの異同は同じ折丁内でもそれぞれ異なる面に偏って現れており、本文の改訂と頁付けの改訂との間には何らかの作業手順の違いがあったのではないかと思わせる。

#### 4. おわりに

前回の報告では「正篇に比べると続篇は細かい改訂を重ねているが、こうした改訂の状態に関しても、さらなる諸本の調査によって新たな側面が明らかになる可能性が高い」と結んだが、その見通しは正しかったと言えよう。特に京大本の調査は、資料の状態を実際に手にとって精査することの重要性を改めて実感させるものであった。

『羅西日辞書』はイエズス会版に比べると現存する数が非常に多く、その希少性の低さが、かえって研究対象として注目されにくい理由の一つでもあるようだが、このように同一内容と思われがちな版本でも細かい本文の訂正と改版を繰り返しているのであり、それは現存数が多いからこそわかることだとも言える。

また、ヨーロッパの図書館に所蔵数が多いという事実は、当時のヨーロッパにおいては、希少な『日葡辞書』や『羅葡日対訳辞書』よりも利用しやすい「日本語の辞書」であったということでもある。『羅西日辞書』の本文の異同と印刷過程を知ることは、最善本の確定や日本語研究のためだけでなく、17世紀ヨーロッパにおける『羅西日辞書』および日本語の受容、そしてヨーロッパにおける日本語辞書の歴史という、日本語に関わる研究に新たな広がりを与えてくれるのである。

付記：本稿は平成 23-26 年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金(若手研究(B))、課題番号：23720228)による成果の一部である。

注

- (1) 大塚光信『抄物きりしたん資料私注』（清文堂 1996）p. 256-257。
- (2) 大阪府立中央図書館による市河文庫の紹介 (<http://www.library.pref.osaka.jp/central/bunko/ichikawa.html>) による。
- (3) 筑波大学附属図書館電子化資料の画像 (<https://www.tulips.tsukuba.ac.jp/mylimedio/dl/page.do?bookid=698080&tocid=0>) を利用。
- (4) 画像はバイエルン州立図書館公式サイト内で公開されている電子画像 (<http://reader.digitale-sammlungen.de/resolve/display/bsb10522255.html>) および Google Books に公開されている電子画像 ([http://books.google.co.jp/books?id=QCZHAAAcAAJ&hl=ja&source=gbs\\_navlinks\\_s](http://books.google.co.jp/books?id=QCZHAAAcAAJ&hl=ja&source=gbs_navlinks_s)) を利用。所蔵番号はバイエルン州立図書館公式サイト (<http://www.bsb-muenchen.de/index.php>) のオンラインカタログによる。
- (5) 画像は Google Books に公開されている電子画像 ([http://books.google.co.jp/books?id=yZRNAAAcAAJ&hl=ja&source=gbs\\_navlinks\\_s](http://books.google.co.jp/books?id=yZRNAAAcAAJ&hl=ja&source=gbs_navlinks_s)) を利用。所蔵番号はオーストリア国立図書館公式サイト (<http://www.onb.ac.at/>) のオンラインカタログによる。
- (6) 京大本について、拙稿「コリヤード『羅西日辞書』諸本の異同 ―ローマ、ヴァチカンにおける調査を中心に―」で引用した大塚氏の表の表記には若干の誤植があることが今回の調査で確認されたので、修正した。
- (7) 大塚前掲書 p. 256。

[かわぐち あつこ 本学教員]